



平成 29 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング  
(JASDAQ コード : 3350)  
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久  
電話番号 050-5835-0966

### 当社株式の「業績」に係る猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成25年9月期から平成28年12月期まで4期連続して営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなったことから、本日、株式会社東京証券取引所の発表のとおり、有価証券上場規程第604条の2第1項第2号に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、お知らせいたします。

なお、これにより当社は、平成29年12月期に営業利益及び営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は上場廃止となります。

#### 記

##### 1. 上場廃止に係る猶予期間入りに至った経緯

当社グループは、ディストリビューション事業及びホテル事業を主として事業を展開してまいりましたが、平成26年5月より新たに飲食事業を開始し、事業領域の拡大及び収益力の強化を図ってまいりました。

しかしながら、飲食事業については、事業を急速に立ち上げることを重視し、慎重な投資判断及び投資後の損益管理が不十分であったことから、平成27年9月期において多額の減損損失等を計上するとともに、平成28年12月期においてもセグメント損失656百万円を計上する結果となりました。

また、ディストリビューション事業については、市場の変化に応じた新たなコンテンツの獲得に努めてまいりましたが、CD市場の縮小傾向により、売上の増加や収益の改善には至らず、平成28年12月期においてセグメント損失215百万円を計上いたしました。

当社グループは、当該状況を改善するため、平成28年6月に飲食事業を、平成29年2月にディストリビューション事業を売却し、現在は業績好調なホテル事業の単一セグメントとなっておりますが、当社グループの平成28年12月期の連結業績は、売上高5,229百万円、営業損失786百万円、経常損失916百万円、親会社株主に帰属する当期純損失1,546百万円となり、4期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上することとなりました。

## 2. 猶予期間

平成29年1月1日～平成29年12月31日

## 3. 今後の見通し

当社グループは、平成29年12月期における営業利益又は営業キャッシュ・フローの黒字化に向けて、徹底した販売費及び一般管理費の見直しを行いコスト削減に取り組むとともに、ホテル事業に全ての経営資源を集中させ、同事業の強化に一層努めてまいります。

既存ホテル3棟は引き続き好調に推移すると予想しており、さらに平成29年11月開業予定の「レッドプラネット名古屋錦（仮称）」が、短期間ではありますが、平成29年12月期の売上に寄与する見込みです。また、各ホテルの採算について常時モニタリングを行うなど経営管理体制の強化に努め、収益力の向上を図ってまいります。

なお、平成29年12月期の連結業績予想については、ディストリビューション事業譲渡の影響等を含め、現在精査中であるため、当該連結業績予想については、今後、取り纏まり次第速やかに開示いたします。

以 上